

## 決算特別委員会

3310万9千円

### 消防水利維持管理整備事業

- Q** 修繕費や改良撤去など、令和5年度の消防水利に関する維持管理の状況について伺う。
- A** 消火栓13基、防火水槽4基を修繕した。消防水利の維持管理は市民の安心安全を確保するうえで、非常に重要な業務であり定期的に点検調査を実施し、緊急性の高いものから順次修繕をしていく。

5339万8千円

### 障がい者地域生活拠点等整備事業

- Q** 障がい者へ国の法改正や各種行事などの情報は行き届いているのか、社会参加のためにも情報発信を進めてはどうか。
- A** 現在実施しているホームページの音声読み上げや社会福祉協議会の声の広報、点訳の送付、サービス利用者への相談支援事業所の情報提供などのほか先進事例等を参考に検討したい。

282万7千円

### 職業人材確保対策事業

- Q** 市内企業検索サイト「おしごとNAVI花巻」141件の成果は。
- A** 市は、企業訪問等で登録のお願いをしているほか、学校や関係機関に訪問する際にPRしている。内容については、高い評価をいただいております。若い方々に事業所を知っていただくきっかけになっている。

184万円

### 自主防災組織支援事業

- Q** 出前講座や訓練支援、自主防災アドバイザーの派遣による活動実績を伺う。
- A** 自主防災アドバイザーや市職員が講師となって実施する講座を令和5年度に30回実施している。また、自主防災組織の訓練支援は10カ所程度実施している。

3348万円

### 学力向上推進事業

- Q** 全国テストにおいて、当市の小学校の成績が落ちている結果について、地区単位のPTAにどのような報告、説明、指導がなされたのか伺う。
- A** 学力向上支援員が学校の要望により、令和5年度9回説明を行った。保護者からの要望もあったことから、保護者に対する説明会を設定するよう学校に促している。



菅原ゆかり 議員

■指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）（※）について

Q

指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の指定状況と今後の取り組みについて伺う。

A

被害の発生を防止するため、市内民間施設2カ所、公共施設7カ所、計9カ所を指定している。全国で「熱中症特別警戒アラート」は一度も発表はされていないが、クーリングシェルターとして開放していただける店舗や事業所の募集継続と、多くの皆様のご協力をいただきながら指定施設を拡大し、熱中症による健康被害の防止に努めていく。

■認知症の方に寄り添う取り組みについて

Q

認知症の方に寄り添う取り組みとして、ユマニチュード（※）の普及について伺う。

A

ユマニチュードには四つの柱があり「見る」「話す」「触れる」「立つ」という行動により、相手を大切に思っていることを相手に分かるように伝える技術。市としては、ユマニチュードについて詳細に把握していないことから、把握に努めるとともに、他自治体の事例を参考にしながら認知症サポーター養成講座での活用を含めて普及について検討する。

※クーリングシェルター：適当な冷房設備を有する等の要件を満たす誰もが利用できる施設。市町村長が指定する。

※ユマニチュード：「人間らしさを取り戻す」ことを意味するフランス語。認知症のケア技法のこと。

## 決算特別委員会

## 令和5年度各会計決算を認定

令和5年度花巻市一般会計歳入歳出決算など7件の会計決算について決算特別委員会を設置し、9月24日から26日までの3日間、審査を行いました。

審査の結果、「令和5年度花巻市一般会計歳入歳出決算の認定について」、「令和5年度花巻市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について」および「令和5年度花巻市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」の3件については反対があり、採決の結果、賛成多数で、他の4件は全会一致で認定すべきものと決しました。審査結果については、10月1日の本会議で委員長報告が行われ、反対および賛成の討論が行われ、委員会の決定どおり、それぞれ認定しました。

審査の主な質疑・答弁の内容は次のとおりです。

審議の様子はこちら



9月26日



9月25日



9月24日



3196万1千円

### 消防・救急救助充実強化事業

- Q** ドローンを1機購入したが、具体的な実績は。
- A** 現時点では火災調査の目的で1回出動実績がある。また、要救助者等の搜索、安否確認、現場状況の把握などの情報収集に活用する。